



長野市民病院  
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第25号

平成19年6月15日

# あした元気になあれ

## 長野市民病院 の理念

1. 命のいとおいさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

病院機能評価認定病院

臨床研修病院



古里小学校合唱部による合唱



映画作家 大林宣彦監督による講演会



病院職員による模擬店風景



高規格救急車の一般公開

# 第1回病院祭開催される

開院13年目を迎えた6月2日（土）、「見つめよう健康 見てみよう長野市民病院」をテーマに第1回病院祭が開催されました。さわやかな初夏の陽気に誘われて約2,100人の方が来院され、大変な賑わいを見せました。

当日は、健康に関する催しとして、「メタボリック症候群」及び「脳動脈瘤」に関する当院医師による講演会をはじめ、メタボリックチェックラリー、骨密度測定、転倒予防教室、ウォーキング教室、AED体験、医療相談等を行いました。

また、イベントとして、新しく完成した病棟やヘリポートの開放、市民病院でもロケが行われた映画「転校生 さよなら あなた」の監督、大林宣彦氏の講演会、古里小学校合唱部による合唱、ボランティアによるバザー、キッズコーナー、子供科学実験体験、模擬店等を行いました。ご来場された方はそれぞれに目当ての催しに参加され、お子様からご年配の方に至るまで十分に楽しんでいただけたと思います。

今後とも、地域の医療機関としての機能を十分に発揮し、信頼される病院として一層のレベルアップを図ってまいります。

## 平成19年度病院運営方針

目標：患者さまの権利を尊重し、長野市民病院の理念のもと

＜患者さん 職員、地域にとって 魅力のある病院に＞

＜高度専門医療と救急医療を充実させ、良質・安全な医療を市民、地域に提供する＞

平成19年度のテーマ：

＜平成20年4月増床に向けての準備＞

＜救急医療体制の充実＞

- 1、増床にむけた病院増改築の推進、完成
  - ・増改築工事の進捗管理・点検
  - ・救急部門の体制づくりと病棟再編成、増床準備
  - ・職員の適正配置の検討と増員
- 2、医療の質の向上
  - ・DPCの効率的運用
  - ・7対1看護体制の維持
  - ・がん診療連携拠点病院として充実
  - ・地域医療連携のさらなる推進、地域医療支援病院を志向
  - ・医療安全対策、感染対策のさらなる推進、NSTの充実
  - ・病院機能評価更新受審準備
- 3、経営改善への取組
  - ・院内組織の見直し再編・強化
  - ・長野市と緊密な連携・協議
  - ・新入院患者を増やす
  - ・職員満足度の向上
- 4、教育・研修・臨床研究活動の充実活発化
  - ・前期後期臨床研修医の教育の充実
  - ・院内研修の充実
- 5、患者の視点に立った医療の推進
  - ・インフォームドコンセントの徹底と優しく、温かい接遇・挨拶の励行
  - ・セカンドオピニオン、相談支援事業の推進
- 6、地域に開かれた病院づくり
  - ・市民健康講座、出前講座、地域がん診療連携拠点病院研修会などの充実
  - ・第1回病院祭の開催
  - ・ボランティアへの協力
- 7、情報発信
  - ・HP、広報誌等の積極的活用
  - ・年報、診療案内の充実、市民健康読本第2版の発行
  - ・診療実績、臨床指標の積極的公開



(10年勤続功労表彰)

### 十年勤続 功労表彰執り行われる

去る、六月一日（金）当院市民健康ホールにて、十年勤続功労表彰が執り行われ、職員28名、委託職員6名の方が表彰されました。

病院開院後、六月一日で12年が経過し、今回の表彰者は開院三年目前後から長野市民病院に勤務し、地域の中核病院としての病院基盤を固めることだけでなく、最先端の医療を提供すべく病院の発展に寄与されてきました。

今後とも表彰者の方には、他の職員の模範となるべく活躍を願うものであります。

# 副院長 4名体制でスタート!



宗像 康博…  
診療部長・外科統轄科長  
兼務

近年、医療崩壊、病院崩壊が叫ばれている中で、副院長の責任の重さを痛感しております。こういう逆境の中、来年4月の急病センター機能移転、400床増床を迎えることの困難さを竹前院長と4人の副院長が先頭になり、職員と一致協力して何とか克服したいと考えております。

当院は、これまで①患者様への安心、安全な医療の提供②医療を通じての地域社会への貢献の2点を主眼にこれまで発展努力して参りましたが、これからは、③職員にやさしい、職員に愛される病院にしなければいけないと考えております。患者様への良い医療の提供を確保するためには病院を良好な状態で維持する必要があります。

また、専門領域であります、消化器外科におきましては、一層のスタッフの充実、これまでも、活発に行っておりました外科治療に関する学会や論文発表に加えましてがん化学療法の実績も充実させて、一層の

レベルアップをめざしますので、宜しくお願いいたします。



岡根谷 利一…  
(六月一日付新任)  
泌尿器科統轄科長兼務

私に与えられた最も大きな課題は市民病院のがん診療の充実です。当院はこれまでの実績が認められて、今年1月に地域がん診療連携拠点病院に指定されましたが、これからの時代に対応するべくさまざまな方策を打ち出して行くつもりです。具体的には新棟の2階50床をがん専門の全科横断的な治療ができる病棟として運用しますが、がん治療にとりまなう様々な身体的精神的苦痛に治療開始時から対応し、かつ高度ながん治療を実現する場として、これからのがん治療を具現したいと考えています。そのためには医師、看護師、薬剤師など多職種の職員の情熱と協力が必要ですが、チーム医療をさらに発展させるため努力する所存です。また外来化学療法センターなど、通院や在宅でのがん治療を推進

するとともに、がん相談支援室を通じて相談と情報発信をおこなってまいります。新築した病棟などの施設は驚くほど広くてきれいですが、困った時に駆け込み病院として真に信頼を得られる病院となるよう努めてまいります。



平井 一也…  
(六月一日付新任)  
呼吸器科統轄科長・内科  
統轄科長兼務

この度副院長を拝命しました内科の平井です。平成7年6月の開院以来内科、特に呼吸器疾患を中心に診療に従事して参りました。今まではとにかく患者様を一生懸命診てさえいれば許されましたが、今後は病院全体のことも考えて行かねばならず、責任の重さを痛感する次第です。私に課せられた役割は、地域医療連携および紹介・相談支援センターの充実、臨床研修を含む職員の教育研修、来年度に迫った病院機能評価受審対策などです。衆知の通り地域中核病院を取り巻く環境は一段と厳しいものになっております。今後当院が発展し、良質の医療を提供することで地域の皆様に安心して頂くためには、更に高いハードルをいくつも超えて行かなければなりません。その目標に向かって気負うことなく一歩一歩前進して行く所存です。ど

うか皆様の暖かい御支援を宜しくお願い申し上げます。



長谷部 修…  
(六月一日付新任)  
消化器科統轄科長兼務

6月から副院長を務めることになりました消化器科の長谷部修と申します。一番の若輩者であります。よろしくお願いします。私は竹前院長とともに開院1年前から市民病院の準備に携わりましたが、開院後は消化器科の仕事に専念してまいりました。6月から新しく副院長4人体制となり、車にたとえれば4輪のうち1輪を任されることになりました。管理職としての責務を果たし、4人でしっかりと院長をバックアップする所存です。長野市民病院は開院してまだ13年目の中規模病院ですが、他の医療機関や患者様からの評価はきわめて高い病院です。その評価を築きあげたのは職員のモチベーションの高さです。そしてそれを維持できたのは職員の若さとハード面のすばらしさです。私の使命は内科統轄と病院管理運営経営全般です。内科の充実・臨床研修医の倍増を目指すとともに一層質の高い患者さまへのサービスが提供できるような環境づくりを目指したいと思います。



「内分泌代謝の病気をどう扱うか」

内科科長 西井 裕

扱う病気としては糖尿病を中心とした、生活習慣病が多くの比率を占めています。メタボリックシンドロームは、運動不足や、食べすぎで、おなかに脂肪が沈着してくる状態を言います。ウエストが男性で85cm、女性で90cmを超えると要注意です。糖尿病でもメタボリックシンドロームでも最終的には動脈硬化が進行し、狭心症や心筋梗塞や脳梗塞や閉塞性動脈硬化症を起こす怖い病気です。また糖尿病では動脈硬化のほかに3つの特有な合併症を起こしてきます。神経障害(し)、網膜症(目)(め)、腎症糖尿病(じ)です。頭文字をとって「しめじ」と覚えてもらっています。医学の難しい知識をわかりやすく説明することも私たちの重要な使命です。しかし国内にいる糖尿病専門医は3000人といわれ専門医だけでなく糖尿病を診療するのは不可能の状態となっております。そこでここ数年、

開業医の先生と一緒に糖尿病病患者を見ていく体制を整備しつつあります。病院で専門医は入院治療を中心として、患者の治療に当たり、落ち着いたら、普段の診療はかかりつけ医の先生に診てもらおうということですので。ですから開業医の先生を受診しているかたがたにも、栄養指導、運動療法、糖尿病教室を中心とした患者支援を通して、お役に立てる場をつくっていくのもわれわれの重要な役割です。残念なことですが、糖尿病という病気を直すことができません。しかし食事に気をつけ、運動して生活習慣を改善すると病態は見違えるほどよくなります。生活習慣を改善しても病態がよくならないと物が必要になります。きちんとコントロールすれば、普通の生活が送れます。気長に糖尿病や生活習慣病とつきあっていくことが重要です。そのほか甲状腺疾患、副腎疾患、副甲状腺疾患、膵内分泌疾患、下垂体疾患、性腺疾患など、いわゆるホルモンの病気を扱っています。これらの病気も頻度は少ないですが、重要な病気です。また頻度が少ないゆえに皆様になじみがなく、病気について、十分な説明が必要な病気です。

みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

他病院との比較も行い安く設定しております。また水道の蛇口はご指摘のとおりですが、費用対効果の面からすぐには対応できません。次回更新時に検討いたします。

トイレの便座を拭くガーゼを設置してください。最近ウイルス性の病気が流行しているので、そういうところから注意していくべきではないでしょうか。(見舞い者)

トイレルは外来、病棟共に日曜以外は定期的に清掃を実施しています。またノロウイルス流行期は下痢症状のある患者様のトイレルは専用にし、次亜塩素酸ナトリウムでの清掃を実施しました。ご指摘のような消毒剤が設置できれば理想的ですが、経済性・運用等の理由で実現は難しい状況です。汚れなどが見られた場合は近くの職員にお声をかけていただければ、迅速に対応いたします。

入院病棟における洗濯室の乾燥機は、1回40分でなかなか乾かないので、2度の乾燥をかけなければなりません。合計80分の時間を要して入院患者、洗濯利用者は大変不便を感じています。設備を変えることはできないでしょうか。(入院患者)

乾燥機はガスタイプで電気式に比較しますと早めに乾燥できるものを設置していますが、洗濯量や衣類等の素材により時間差が発生いたします。次回の機器更新時には高性能の製品の設置を検討いたしますのでご理解願います。(入院患者)

今まで患者に具合よく品物が揃っていた売店が、増改築とあって不便を感じています。品物も前の品物(下着・日用品)を早急に揃えてほしいです。(入院患者)

旧売店で販売しておりました医療・日用品の商品をコンビニで販売できるよう交渉中です。販売時期については未定ですが、早くお客様のご要望にお応えできるよう努力していきます。大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、今後とも当店をよろしく願っています。(6月現在は対応済みです)

テレビ代が高いと思います。水道の蛇口は地震の時などに困ると思いますので上げると出るように直したほうがいいと思います。(入院患者家族)

回答 テレビ代につきましては、

# 新研修医の抱負



(市山 崇史)  
今年1年当院で研修することになりました市山崇史です。

兵庫県神戸市出身で、昨年は信州大学で研修をしていました。病気の知識は書籍等を調べれば得られますが、それを診察・治療の場に活用していくには圧倒的に経験が足りません。今は外来、病棟でお会いする患者さん1人1人が先生のようなものです。多くの経験を積み重ね、説明等に重みがつくよう日々是精進で頑張っていく予定です。ご指導・ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。



(木寺奈織子)  
二年間長野市市民病院で研修させて頂いた

申します。今年の3月に信州大学を卒業しました。現在呼吸器内科で研修中ですが、患者さんや多岐にわたる科・職種の方たちに支えられながら、毎日充実した研修生活を送っています。「患者さんは最高の教科書」という名言がありますが、日々それを心に留め研修に励もうと思えます。よろしくお願ひ致します。

## 平成18年度長野市病院事業会計決算

(単位 円)

区分	平成18年度決算額	対差異
<b>収入</b>		
入院収益	4,460,028,269	150,197,862
外来収益	2,290,878,481	50,235,216
一般会計負担金・補助金	986,125,879	105,320,837
指定管理者負担金等	499,682,604	(皆増)
その他の収入	333,200,884	1,020,647
合計	8,569,916,117	806,457,166
<b>支出</b>		
医業費用	8,157,899,400	803,967,969
保健医療公社への交付金	7,637,940,097	779,722,698
(給与費)	(3,431,453,686)	(190,198,796)
(材料費)	(2,115,361,682)	(△47,477,124)
(経費)	(1,524,730,378)	(112,958,495)
(研究研修費)	(43,809,816)	(1,457,996)
(負担金)	(522,584,535)	(皆増)
減価償却費等	480,940,565	46,634,079
その他医業費用	39,018,738	△22,388,808
医業外費用	398,560,934	△50,665,812
支払利息	390,818,879	△5,809,163
その他医業外費用	7,742,055	△44,856,649
合計	8,556,460,334	753,302,157
当年度純利益	13,455,783	53,155,009
前年度繰越欠損金	△282,188,056	△39,699,226
当年度未処理欠損金	△268,732,273	13,455,783

## 長野市病院事業会計 平成18年度

### 千三百万円の黒字決算

平成18年度の病院事業会計は、事業収益八十五億六千九百万円余に対して、事業費用は八十五億五千六百万円余を計上する結果となりました。

これは、増改築事業のための初年度調剤費用が発生したものの、DPCと7対1の導入による増収効果に加え、経営改善委員会の活動による経費削減が功を奏し、長野市病院事業会計においては3年ぶりの黒字決算となりました。

また、地方自治法の一部改正により、長野市市民病院の管理運営にも「指定管理者制度」が導入されましたが、財団法人長野市保健医療公社が市から指定管理者の指定を受け、平成18年度も引き続き管理運営に携わってまいりました。

今後も医療を取り巻く環境は、一層厳しさを増すものと思われ、病院経営の更なる合理化・効率化を図るとともに、引き続き経営の安定化・健全化に努めてまいります。

## 売

店が変わってから朝7時30分まで新聞が買えません。前のように外に料金箱をおくなどして対応してもらえませんか。(入院患者)

◆回答 現在は朝6時30分から7時に、開店準備のためスタッフが出勤しております。今後は、お声をかけていただければ新聞は販売いたしますが、朝6時30分以前の販売はできません。ご面倒をおかけいたしますがご理解をお願いいたします。

## 家

家族浴室(2階)の脱衣所に椅子がほしいです。体の衰えた家族を入浴させる時の脱衣・着衣は危ないと思います。本人も楽だと思えます。簡単な丸椅子でいいと思うのでお願いします。(見舞い者)

◆回答 ご意見ありがとうございます。椅子を設置いたしました。

## 部

部屋の温度はもう少し低い方が休める。暑いので寝苦しい。(入院患者)

◆回答 病室内の温度につきましては、空調室で全体温度を23・9度に設定しております。建物の構造や部屋の場所、個室・2人部屋・4人部屋等の違いによっても若干温度差があります。部屋ごとに調整機能はありませんが、入院患者様によっても寒がりの方や暑がりの方もあり、極端な個人向けの調整はできません。可能な限り快適にお過ごしいただけるよう調整いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。

登

録

医

紹

介

No.11

登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。  
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。



院長の新澤先生は長野市のご出身であり、秋田大学医学部を卒業後、秋田大学医学部附属病院で12年間勤務し、その後長野県に戻られ信州大学医学部で研究生として3年間を過ごした後、平成13年4月に現在地に開業され7年目を迎えました。

皮膚科の医師になったのは、医学生時代に研修させていただいたのが皮膚科の開業の先生だったことがきっかけだそうです。

皮膚科を標榜診療科としているため、お子様からご年配の方までさまざまな症状の患者さまが1日平均約70名ほどが受診され、時には遠方から来られる患者さまもいて、ようやく地域に根ざしたと感じられるそうです。

院長が女性ということもあり、女性の患者さまが受診しやすい環境であることも特徴の一つであるといえます。

院長の趣味は、週末の家事をこなしながら、空いた時間に読書をするのですが、最近では囲碁も始められたそうです。

現在当院とも連携が図られ、患者さまにとって診療体制が整っているという印象を受けました。そして何より先生の温かい人柄と医療に対する熱心さを感じられました。

## 職場紹介

### 健診センター

健康管理課長 古川雄二

当院の健診センターでは、日常生活習慣を定期的に見直し、病気の発症を予防し、また、早期発見できるように、皆様の健康管理をお手伝いしております。

従来、受診の皆様には胃の検査、X線検査、婦人科検診等、それぞれの検査室や外来診療科への移動などご不便をおかけしておりました。

本年4月からは、胃の検査のみ、となりの内視鏡センターへ移動しますが、その他の検査は健診センターにおいて実施可能となりました。

健診システムも同時に更新し、関心の高いメタボリックシンドローム関連の結果、度合等をわかりやすくグラフ表示した結果報告書をお渡しするなどしております。

まだ血圧をご自身でお計りいただくなど、検査機器と健診システムの連携していないものもありますが、順次連携し、稼働させていく予定です。

検査項目の内容や結果については、午後より内科の医師が説明をし、総合判定をいたしますが、外来診療や、病棟業務との兼務により、度々遅くなることもあり、ご迷惑をおか



(新棟に4月より移動した健診センター)

けしております。  
4月より保健師も採用しましたので、受診後の生活指導も行っていくたいと考えております。  
オプシオン検査では、要望の多かった骨密度検査を総合健診コース(人間ドック)の基本検査項目に入れました。  
また、新たに腫瘍マーカー検査として、大腸がんや膵臓がん等の検査(CEA・CA19・9)、動脈硬化の進み具合を調べる検査(ABI・頸部超音波検査)をオプシオン検査として用意しております。事前に問診票をお送りした際に電話での予約が必要ですが、お気軽にお申込みください。

# 第6回日本医療マネジメント学会 長野地方会開催される

地域医療連携室主査 北澤 淳一

平成19年5月12日(土)に、第6回日本医療マネジメント学会長野地方会(当番病院・長野市民病院)を開催致しました。今回は、「医療安全」「地域医療連携」「DPC」を主テーマに、講演4題、一般演題10題をいただきました。

とりわけ、医療安全に関しては、九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤 純子先生から「医療安全・取り組みの見直しと今後の展開の検討」と題した講演を頂きました。例を挙げていた



きながら、参加者に考えさせる形式の講演で、刺激的で参考となる内容でした。

また一般演題に10題もの申し込みがあったことに、医療従事者のマネジメントに対する関心が高まっていることが伺えました。

今回は61施設、329名の皆さまにご参加いただき、例年以上に盛大な会となりました。これだけ多くの皆さまが一同に会したことで「顔の見える連携」実現に、この会が大きく寄与できたように思われます。



# 看護週間について

4階東病棟 看護主任 小澤 彩子

5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」です。当院看護部では5月7日から5月11日までを「看護週間」とし、イベントを開催いたしました。午前の部(9時から11時30分)は、看護や健康に関する看護相談をはじめ、今関心が高まっているメタボリックシンドロームに注目し、体脂肪測定・腹囲測定および動脈硬化測定を行いました。

診察の間をみてきてくださった方、入院患者様やご家族、職員など連日50名ほど(最終日は70名)の参加者があり盛況でした。午後の部(5月7・9・11日、13時30分から15時)は、社会的に関心の高まってきているAEDや、当院出前講座などで人気の高い介護教室や長生き呼吸体操を取り入れました。

講師の話をお聞きだけでなく実際に体験ができてよかったとの感想も聞かれ好評でした。また、今回参加された方々への記念品も喜んでいただきました。「看護の心をみんなの心に」がメインテーマの看護週間ですが、一人でも多くの皆様に参加いただき、

看護の話を聞くだけでなく実際に体験ができてよかったとの感想も聞かれ好評でした。また、今回参加された方々への記念品も喜んでいただきました。「看護の心をみんなの心に」がメインテーマの看護週間ですが、一人でも多くの皆様に参加いただき、

看護師の役割や看護の心について理解を深めていただけたのではないかと思っております。



(看護週間の様子)



外来診療担当表は、6月1日現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せ下さい。

平成19年6月1日現在  
長野市民病院  
○印は初診担当です

## 外来診療担当日一覧

	月	火	水	木	金	専門
内科 (呼吸器科) (消化器科) (循環器科)	○武藤 英知	丸山 雅史	山崎 誓一	武藤 英知	彦坂 吉興	平井一也 (呼吸器) 西井 裕 (糖尿病・内分泌代謝疾患)
	○吉池 文明	吉池 文明	西井 裕	-	○阿部 直之	長谷部修 (消化器・内視鏡)
	平井 一也	○山崎 誓一	平井 一也	山崎 誓一	○平井 一也	丸山隆久 (循環器)
	越知 泰英	池田 三知代	○越知 泰英	○立岩 伸之	武藤 英知	笠井俊夫 (循環器)
	立岩 伸之	○丸山 隆久	丸山 隆久	丸山 隆久	○丸山 雅史	越知泰英 (消化器・内視鏡)
	阿部 直之	○彦坂 吉興	○笠井 俊夫	吉池 文明	笠井 俊夫	掛川哲司 (腎臓)
	○西井 裕	掛川 哲司	○長谷部 修	○掛川 哲司	長谷部 修	吉池文明 (呼吸器)
○丸山 隆久	○丸山 隆久	丸山 隆久	丸山 隆久	○丸山 雅史	山崎誓一 (呼吸器)	
○立岩 伸之	立岩 伸之	立岩 伸之	立岩 伸之	立岩 伸之	立岩 伸之 (消化器・内視鏡)	
○武藤 英知	武藤 英知	武藤 英知	武藤 英知	武藤 英知	武藤 英知 (消化器・肝臓)	
○丸山 雅史	○丸山 雅史	○丸山 雅史	○丸山 雅史	○丸山 雅史	丸山雅史 (消化器)	
○笠井 俊夫	○笠井 俊夫	○笠井 俊夫	○笠井 俊夫	○笠井 俊夫	阿部直之 (循環器)	
○長谷部 修	○長谷部 修	○長谷部 修	○長谷部 修	○長谷部 修	彦坂吉興 (消化器)	
小児科	池野 一秀 青沼 (AM10時迄)	池野 一秀 -	青沼架佐賜 -	池野 一秀 -	青沼架佐賜 -	
午前10時以降	浅岡 麻里	青沼架佐賜	池野 一秀	青沼 (第3は三上)	池野 一秀	青沼架佐賜 (発達・神経・循環器・心身症)
午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来 免疫・アレルギー	小児心療内科外来	免疫・アレルギー 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来	池野一秀 (免疫・アレルギー)
外科	沖田 浩一	佐近 雅宏	関野 康	-	○草間 啓	宗像康博 (消化器・胃大腸)
	○関野 康	○関 仁誌	宗像 康博	○佐近 雅宏	関 仁誌	関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・膵臓)
	-	草間 啓	○沖田 浩一	-	-	草間 啓 (消化器)
整形外科	松田 智	○藍葉宗一郎	(藤澤多佳子)	○松田 智	-	松田 智 (上肢・末梢神経)
	南澤 育雄	竹山 和昭	竹山 和昭	山田 誠司 (午後)	南澤 育雄	南澤育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節)
	○藍葉宗一郎	(藤澤多佳子)	藍葉宗一郎	藍葉宗一郎	-	竹山和昭 (脊椎・関節疾患)
	○藤澤多佳子	○松田 智	○山田 誠司	○藤澤多佳子	○山田 誠司	山田誠司 (関節疾患)
	○山田 誠司	○南澤 育雄	○南澤 育雄	○竹山 和昭	○竹山 和昭	藍葉宗一郎 (整形外科)
形成外科	○滝 建志	○信大医師	○滝 建志	滝 建志	○滝 建志	滝 建志 (形成外科)
	池上みのり	池上みのり	池上みのり	○池上みのり	池上みのり	池上みのり (形成外科)
脳神経外科	○大屋 房一	○柿澤 幸成	○大屋 房一	○柿澤 幸成	○原 洋助	竹前紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害)
	柿澤 幸成	原 洋助	竹前 紀樹	大屋 房一	-	大屋房一 (脳血管障害・脳血管内手術)
皮膚科	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	柿澤幸成 (脳腫瘍・脳血管障害)
	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	原 洋助 (脳神経外科)
泌尿器科	上野 学	上垣内崇行	上垣内崇行	上野 学	上垣内崇行	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大)
	岡根谷利一	中沢 昌樹	岡根谷利一	中沢 昌樹	(交替制)	中沢昌樹 (神経因性膀胱)
眼科	風間 淳	風間 淳	風間 淳	風間 淳	風間 淳	上垣内崇行 (尿路結石・前立腺肥大)
	-	信大医師	-	信大医師	-	上野 学 (泌尿器科)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休診	野村 康	野村 康	野村 康 (耳鼻咽喉科)
放射線科	休診	橋田 巖	休診	橋田 巖	橋田 巖	今井 迅 (画像診断)
歯科・ 口腔外科	○楠 公孝	○田村 稔	○楠 公孝	○信大医師	○田村 稔	橋田 巖 (放射線治療)
	田村 稔	楠 公孝	田村 稔	-	楠 公孝	田村 稔 (口腔腫瘍)
神経内科	○山本 寛二	山本 寛二	-	○山本 寛二	山本 寛二	楠 公孝 (口腔外科)
	池田三知代	-	池田三知代	-	-	山本寛二 (神経内科)
膠原病外来	池田三知代	-	池田三知代	-	-	池田三知代 (リウマチ・膠原病)
呼吸器外科	齋藤 学	西村 秀紀	齋藤 学	西村 秀紀	休診	西村秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺)
	齋藤 学	齋藤 学	齋藤 学	齋藤 学	齋藤 学	齋藤 学 (呼吸器)
婦人科	森 篤	○信大医師	○森 篤	○森 篤	森 篤	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症)
	○西澤千津恵	-	○西澤千津恵	○西澤千津恵	○西澤千津恵	西澤千津恵 (婦人科)

### 長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1  
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148  
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社  
**長野市民病院**

■発行人：竹前紀樹  
■編集：長野市民病院  
広報誌編集委員会

救急センター開設・100床増床につき  
医師・看護師・研修医募集中

本紙のバックナンバーは、  
ホームページでも  
ご覧いただけます。



#### 「市民病院ギャラリー(仮称)」のご案内

新しく新築した既存病棟から新病棟への廊下部分(1階)を、ギャラリーとして一定期間お貸しいたします。風景写真など、患者さまの「癒し」になる展示物がございましたら総務人事課(☎295-1199 内線4401)までお問い合わせください。